

希少種（貝類）の採取作業を実施

◆日時 平成21年7月26日（日） 8:00 ～ 9:00

◆場所 岡山市東区乙子地先

◆概要

吉井川の乙子地区における浚渫工事により、周辺の干潟(ヨシ原)に生息する希少種（貝類）に影響を与える可能性があるため、乙子地区の皆さん29名、岡山大学の研究生3名、施工業者3名、岡山河川事務所2名の約40名により、希少種等の採取を行いました。

蒸し暑く、あいにくの曇り空でしたが、午前8時から約1時間、岡山大学大学院自然科学研究科・森さんの指導のもとに調査区域約500m区間を上流・中流・下流に分かれて実施しました。築堤工事に伴うこの地区でのこうした協働作業は、平成16年度から実施しており、5回目となりました。

今回は、オカミミガイ(絶滅危惧種Ⅱ類)は少なく、ヒロクチカノコ(絶滅危惧種Ⅱ類)やフトヘナタリ貝(準絶滅危惧種)が多かったようで、採取した貝類は、森さんが一旦持ち帰り、マーキング等をしたうえで採取地の西側に再放流される予定です。

◆活動写真

